

現代のイスラーム社会に多大な影響を与えた ワッハーブ派の創始者



保坂修司 著

(日本エネルギー経済研究所研究顧問)

イブン・ワッハーブ派の祖 アブドゥルワッハーブ

偉大な宗教改革者か？ テロのイデオログか？ 知られざる現代イスラーム思想の源流

18世紀アラビア半島でイスラーム純化運動を開始したイブン・アブドゥルワッハーブは、スウード家の庇護を得て、のちにワッハーブ派と呼ばれる思想を構築した。スウード家は彼の理想にもとづき、周辺地域にジハードをしかけ、アラビア半島の多くを占領、これが現代のサウジアラビアへとつながる。

ワッハーブ派は、現代イスラーム社会に多大な影響を与えたが、誤解も少なくない。本書ではなるべく誤解や偏見を排しながらイブン・アブドゥルワッハーブの実像に迫っていく。

- 目次
- ワッハーブ派という名前
 - 1 アラビア半島とは
 - 2 イブン・アブドゥルワッハーブの生い立ち
 - 3 イスラームの改革運動
 - 4 イブン・アブドゥルワッハーブの著作と思想
 - 5 その後のスウード国家

A5変型判 96頁
ISBN:978-4-634-35085-4 C1322
定価1,100円(本体1,000円+税10%)



山川出版社 TEL: 03-3293-8131

※ご注文は、右記まで FAX: 03-3292-6469

新刊受注〆切
5/20(水)

ご注文冊数

冊

貴店番線印

(ご担当名:)

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。